

解熱鎮痛薬
〔イブプロフェン製剤〕

この説明書は、本剤とともに保管し、
服用の際には、必ずお読みください。

Ⓒ

EVE

イブ®

痛み・熱

私たちは、しばしば「生理痛」、「頭痛」、「歯痛」、「発熱」などに悩まされます。がまんできない痛みや熱は苦痛であるばかりではなく、日常生活にも支障をきたします。

イブは、痛みや熱の原因となる物質（プロスタグランジン）ができるのを抑え、痛み・熱にすばやくすぐれた効き目をあらわすイブプロフェンの製剤です。

特 長

- 痛み・熱に、はやく効きます。
- 痛みのもとにしっかり作用して、つらい痛みをよく抑えます。
- のみやすい小粒のフィルムコーティング錠です。

△ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。）

1. 次の人は服用しないでください

（1）本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。（2）本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。（3）15才未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は飲酒しないでください

4. 長期連用しないでください

👤 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

（1）医師又は歯科医師の治療を受けている人。（2）妊婦又は妊娠していると思われる人。（3）授乳中の人。（4）高齢者。（5）本人又は家族がアレルギー体質の人。（6）薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。（7）次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病（8）次の病気にかかったことのある人。胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

（1）服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる。

（裏面につづく）
®：登録商標

症状の名称	症状
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合。

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

便秘、下痢

成分 2錠中

イブプロフェン 150mg
 添加物として、無水ケイ酸、セルロース、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール、ステアリン酸Mg、タルク、酸化チタンを含有します。

効能・効果

- 生理痛・頭痛・歯痛・咽喉痛・関節痛・筋肉痛・神経痛・腰痛・肩こり痛・抜歯後の疼痛・打撲痛・耳痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用します。服用間隔は4時間以上おいてください。

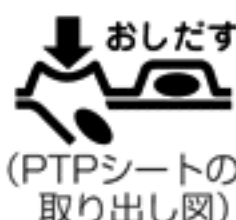
年 齢	成人(15才以上)	15才未満
1回量	2錠	服用しないこと

＜用法・用量に関連する注意＞

(1) 用法・用量を厳守してください。

(2) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながります。）



保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 使用期限をすぎたものは服用しないでください。

お問い合わせ先

お買い求めのお店、又はお客様相談室にお問い合わせください。

エスエス製薬株式会社 お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-028-193

受付時間：9時から17時30分まで（土、日、祝日を除く）

製造販売元



エスエス製薬株式会社

〒103-8481 東京都中央区日本橋浜町2-12-4

<http://www.ssp.co.jp/>